

連載

台湾では大学を中心に 中医・西洋医の両面から 統合医療の道が開きつつある



環境を変えることは、
統合医療においての
大事な要素

2008年夏から毎月台湾に行き、中医師対象のセミナーを台北、台中で開いている。台湾の中医師は6000名いるといわれるが、中国の中医師、韓国の韓医師と同じように、クリニックを開業でき、漢方薬を処方できるため、日本の鍼灸師よりも人気があり、社会的な信頼、地位が高い。台湾では台湾大学を中心に中医、西洋医の両面から補完代替医療の研究が始まり、統合医療の道が開きつつある。

そんな流れのなかで1000名ほどの中医師のグループをつくり、統合医療センターをつくる計画が進んでいる。都市部の統合医療セ

ンターのクリニックをつくり、また郊外にも統合医療センターをつくろうというものだ。郊外の統合医療センターには温泉があり、森林浴ができ、鍼、アロマセラピーなどの治療が受けられ、漢方薬の処方、薬膳料理が食べられるところを想定している。

今計画している郊外の滞在型統合医療センターは、台北市内から車で1時間ほどの温泉地で、お湯が大変豊富で掛け流しの清潔感のある大きな大浴場、また家族風呂があり20部屋ほどの宿泊できる施設を持つ。

日本からの患者さんの受け入れも考えている。成田から台北までは往きが3時間、帰りが2時間半の距離で、冬でも暖かい日は20度はあり、湿気70%前後と湿り気もいい具合だ。日本では冬の間、肌

の乾燥がひどく、保湿効果をあげるクリームなどが化粧品のかなで大きなウエートを占めているが、台湾ではほとんど必要ない。台湾に滞在するといろいろな病気が良くなることたびたび聞くが、環境が変わることでそれに対応する形で免疫が上がるのだろう。

環境を変えることは統合医療において大変大事な要素である。それも日本からたいして距離が離れていないこと、料理が基本的にしようゆ味であること、開放感があること、親切な人が多いこと、漢字世界で文化が似ていることなどから、日本人にとつとてとても良い環境の地だ。1週間、2週間と統合医療センターに滞在することで、何年も持っていた持病が改善されることだろう。

アロマビタミンマッサージと顔の鍼

中医師対象のセミナーでは、アロマビタミンマッサージと顔の鍼を教えている。2時間の講義と6時間の実習。アロマビタミンマッサージは症状に合わせていろいろな精油を使い分けること、オイルを体に浸透させるための正確なタッチングを行うことを勉強する。

アロマビタミンマッサージの基礎ができること、顔鍼の実技へ。顔鍼は美容と治療と両面に使える。方法はまずゼラニウムロザ、カモミールローマン、ラベンダーなどが1%前後含まれたマッサージオイルで顔をマッサージしていく。20分ほどのマッサージで顔の上のほうから始める。

マッサージのポイントは鼻の横を上から下のほうに、あごのラインを上からあごのほうに大きなリンパの流れをマッサージしてリンパを促すこと。最後に、前頸を耳の後ろから鎖骨上窩のほうにマッサージ。前頸のマッサージはすべてのマッサージで欠かせないところなのである。

20分のマッサージをしてから鍼を打っていく。使用する鍼は長さ